

# おばさんのひとり言

大瀧 寿音

聖句

「ありがとう」と、あなたが言ってくれた。明るい声で喜んでくれた。その「ありがとう」という一言だけで、私の気持ちも明るくなって、安らいでくるから、不思議なんだ。

「ありがとう」いつでも、どこでも、誰にでも。

かつての子ども達へ

「いつかは、こうなりたい。」と、思い描くことによって、今、自分が歩いてゆけるのなら、「いつかは、こうしたい」そういう想いで、生きていけるなら。

いつかは、いつかで、もしかしたら一生こないかもしれない。

でも、それが精神安定剤になって、苦しいことに、耐えられるのであれば、それはそれでいいのでは、ないだろうか？

夢みるくらいいいだろう。

いつか、鳥になって

今の私の苦しみや悲しみが、いつか私を鳥にして、傷ついた誰かの心をそっとくるんで、あたたためて、見守って眠りにつかせて、あげられますように。

だから、だから、私よ、今は、泣くだけ泣くといい。無垢な子供にもどって。

大瀧 寿音  
(おおたき じゅね)

一九六二年生まれ 五十一歳  
神奈川県川崎市在住

無職

東横学園大倉山高等学校中退

宗教の事務所勤務 信仰上の理由で退社

今は、家の中のことをしながら、詩を書いている。

通販フリーク